



第3次京田辺市総合計画書

**第4次総合計画の策定は**

**答 市の今後を見据えた計画に**

小林 喜代司 議員  
(みらい京田辺)



第二京阪道路内の京田辺PA

**京田辺PAで特産品販売を**

**答 一時的な利用で準備進める**

櫻井 立志 議員  
(公明党)

問 まちづくりの最上位の計画となる総合計画は現在第4次計画の策定が進められており。本市の目指す都市像や人口フレームなどを、どのように考へているのか。また策定にあたっては市民の声を計画に反映する事が大切であり一緒に取組む姿勢が重要であると思うが市の考えは。

(市長) 昭和59年に策定した田辺町総合計画以来、ぶれた事なく自然と調和の取れたまちづくりを進めてきた結果、魅力ある京田辺を築くために「お人」が増加するまちとなる総合計画が必要であり、総合計画を新たに定め第4次総合計画の策定を進めてい

問 国連が掲げるSDGsの理念を、本市の「第4次総合計画」策定のなかに盛り込む考えは。

(理事) SDGsが掲げる理念や目標は、自治体行政の各分野に非常に関係が深いとか、その考え方も整合を図りながら進めていきたい。

問 SDGsが平成30年度に半減を目指とした食品ロスに本市も取組む考えは。

(健康福祉部長) 府で進めるきょうとフードセンターの活動で、本市としても案内や協力を行っていきたい。

(経済環境部長) 大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、食品ロスの削減に向けて、広報等で啓発を図りたい。

(教育指導監) 学校給食に関する、食べ残しの無いように、

問 まちづくりの最上位の計画となる総合計画は現在第4次計画の策定が進められており。本市の目指す都市像や人口フレームなどを、どのように考へているのか。また策定にあたっては市民の声を計画に反映する事が大切であり一緒に取組む姿勢が重要であると思うが市の考えは。

(市長) 昭和59年に策定した田辺町総合計画以来、ぶれた事なく自然と調和の取れたまちづくりを進めてきた結果、魅力ある京田辺を築くために「お人」が増加するまちとなる総合計画が必要であり、総合計画を新たに定め第4次総合計画の策定を進めてい

問 観光施策として、第二京阪道路の京田辺PA内で特産物の販売など、本市をアピールする考えは。

(経済環境部長) 関係機関と交渉の結果、一時的な利用について許可される見込みが出たので、現在観光PRや特産品の販売の準備を進めている。

問 通学路のブロック塀の安全点検を実施したと聞く。その結果と対策は。

(教育部長) 構造基準を満たす3小学校のブロック塀であるが、撤去しフェンスに置き換える。民地のブロック塀の危険箇所は無かった。

**認知症対策に抜本的支援を**

**答 認知症施策の充実を図る**

横山 榮一 議員  
(共産党)



平成30年7月6日午後4時頃の防賀川

**中学校給食検討委議論公表を**

**答 行政課題整理で公表しない**

青木 紗次郎 議員  
(共産党)

問 いまや認知症の高齢者は462万人とされ、軽度認知障害のある人も400万人いると推計されている。高齢者の3~4人に1人は認知症か、軽度認知障害である。現行の介護保険では利用できるサービスに限度があり、認知症の世話はもっぱら家族任せがっている。高齢化が進む中で認知症も増えている。大牟田市の経験など先進地に学んで認知症対策に抜本的支援をしてほしい。市の対策は。

(健康福祉部長) 「認知症サポーター養成講座」の継続実施や「介護予防教室」の普及を行っており、認知症への理解が広がってきている。「認知症初期集中支援事業」により、認知症の方に対する

問 中学校給食厅内検討委員会についての委員会の議論内容等の公表を。(①学校教育、食育の観点を最も重視すべきで学校栄養士等の参加や、意見の反映を。(②保護者の要望、意見を取り入れるべき。)委員会の現在の状況と今後の検討スケジュールは。

(教育部長) 庁内検討委員会は基本的な構想の策定に向け行政課題等の整理を行っており、今年度中にまとめていく。検討終結や議事録の内容の公表、学校関係者や保護者の参加は考えていない。府内検討委員会ではいろいろな方式を検討する中で、その優劣について一定の評価はしている。検討委員会で報告をまとめた上で有識者等の意見も聞いていく。

問 地域温暖化に伴い、酷暑日が続く。子どもや安全面からも、まだ災害時には避難所の役割を担う意味からも、中学校の体育館にエアコンの設置を求める。

(教育部長) 体育館の空調設備については、高温時に各学校においてカリキュラムの変更等、弹力的な運営により適切に対応している。避難所の設置の関係は、有利な制度があるが、改めて防災担当とも協議させてもらいたい。

問 7月豪雨では大住西八部や田んぼが冠水した。虚空藏谷川との合流部から神矢橋門までの間にについて、早急に改修するよう、府に強く要望すべき。

(建設部長) 防賀川は府が順次改修している。治水上重要な認識しており、事あるごとに府へ要望している。

問 国保特定健診や各種検診で、市外の医療機関でも受診できるよう改善を。

(健康福祉部長) がん検診等は市外医療機関でも可能。国保特定健診は、健康な時から地域で相談できる医療機関を持つことは重要で、現在の方法を継続していく。